20240219

兵庫県版 CLI の現況及び CLI から見た 今後の見通しについて

関西学院大学経済学部　豊原

ヒートマップ
先行指数の個別系列
（対前年増加率）

在庫率は変動が大きい←在庫率は基本的に$\frac{在庫量}{出荷量}$

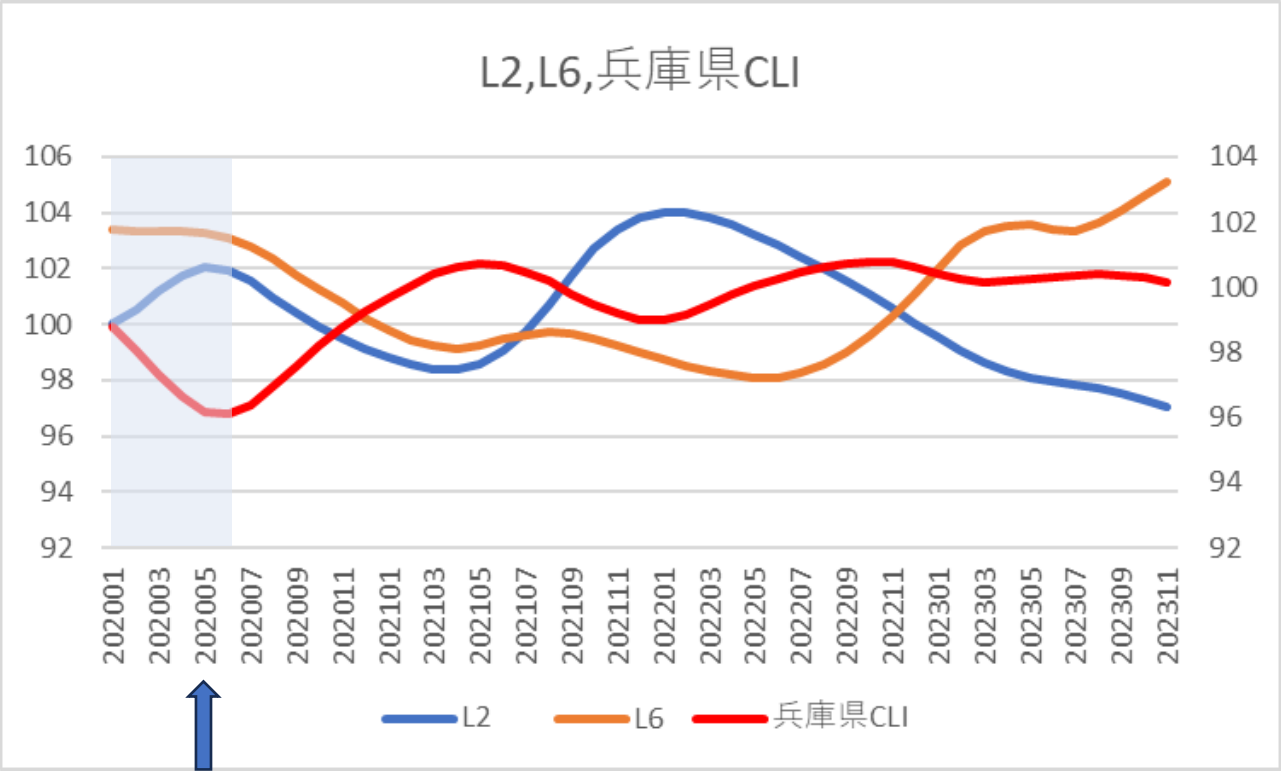
→急激な出荷の増加（減少）、在庫の減少（増加）
　で小さく（大きく）なる傾向が強い

コロナ後の安定期には在庫率が好調、倒産件数が悪化。
雇用に関しては、ゆるやかに悪化傾向

対前年増加率	生産財生産指数季調	鉱工業製品在庫率指数季調	着工新設住宅戸数季調	新規求人数（常用）季調	新車新規登録台数季調	企業倒産件数季調	日経商品指数（42種）前年同月比
	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7
202201	-0.2	-31.5	-20.9	16.7	-11.5	18.8	21.1
202202	-3.9	-34.0	-5.3	7.0	-22.2	0.0	15.6
202203	-6.8	-35.5	8.5	9.4	-12.4	17.9	9.2
202204	-3.2	-39.9	27.9	17.4	-20.4	-31.8	3.0
202205	-5.1	-29.5	-6.1	13.0	-14.2	8.0	-0.9
202206	-4.8	-30.4	-0.4	10.4	-18.2	36.4	-0.5
202207	-4.4	-23.9	4.0	15.2	-8.3	3.4	-5.1
202208	-4.4	-17.6	3.4	10.4	-9.0	14.8	-4.9
202209	1.1	-4.3	-12.6	2.8	12.4	23.7	-7.9
202210	-0.2	10.6	19.8	6.1	17.6	-43.5	-11.4
202211	1.0	14.1	3.9	12.8	1.1	3.7	-10.0
202212	5.4	32.4	2.5	2.6	-2.6	-11.1	-9.6
202301	-5.2	9.0	62.2	-10.7	9.8	-46.2	-10.5
202302	-2.7	19.5	-7.9	1.4	31.1	-73.1	-12.5
202303	-0.5	19.0	2.5	-4.1	13.7	-126.1	-16.8
202304	-7.5	20.3	-16.7	-3.4	36.7	-20.7	-19.0
202305	-1.9	24.2	11.9	-3.6	29.5	-143.5	-17.5
202306	-0.7	12.0	-16.2	-7.3	37.8	-85.7	-17.4
202307	0.0	18.7	-6.4	-4.9	19.5	0.0	-12.8
202308	-2.7	9.2	-1.7	-4.3	20.1	-91.3	-12.0
202309	-7.7	15.7	6.6	1.0	14.3	-62.1	-9.7
202310	-2.9	18.8	-1.9	-3.8	17.4	-45.5	-8.2
202311	-2.8	12.6	-22.2	-7.4	13.3	-111.5	-9.2

兵庫県CLIの動き（時系列） タイムクロック図

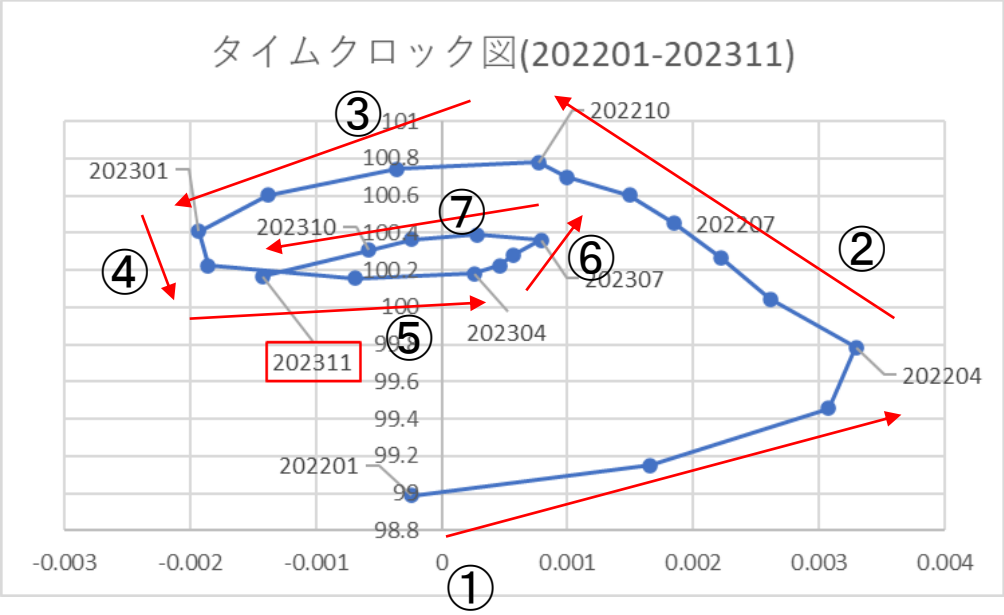
コロナ禍 ➡ 回復過程 ➡ 高原状態 ➡ やや悪化



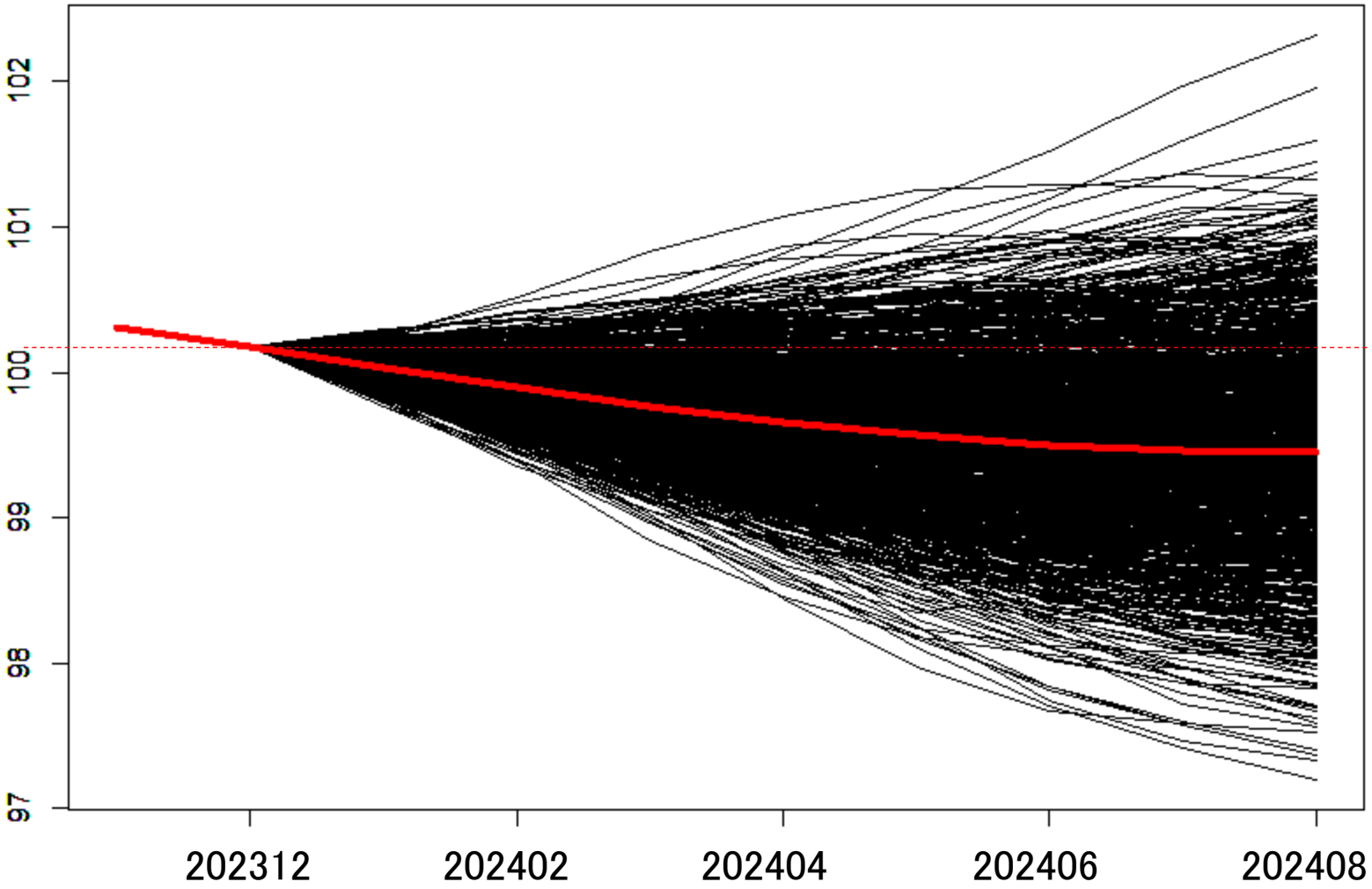
第16循環の谷

L2:在庫率指数（逆循環）
L6:倒産数（逆循環）

※横軸に増加率、縦軸に水準を取ったグラフ、
ARMAモデルから周期と振幅を導出
周期は経験的に13～15ヶ月、
振幅は現時点では減少傾向



シミュレーション



	202311を上回る確率
202312	0.51
202401	0.23
202402	0.18
202403	0.17
202404	0.18
202405	0.19
202406	0.21
202407	0.23

景気は緩やかに悪化。
底打ち感が見られるのは4月以降